

プロロジス、メキシコにおいて 不動産投資信託のスポンサーとなることを発表

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(NYSE: PLD)は、このたびメキシコの不動産投資信託である「FIBRA Prologis」(以下、FIBRA)のスポンサーとなることを発表しました。

メキシコにおける A クラス物流施設のポートフォリオ全体の延床面積は、約 280 万平方メートル(2,970 万平方フィート)です。この中には、メキシコの戦略的な立地にある 177 の物流施設と生産施設が含まれており、61 パーセントがプロロジスのグローバルマーケットに、39 パーセントがリージョナルマーケットに立地しています。「FIBRA」のポートフォリオは、プロロジスがメキシコで所有する施設だけでなく、旧「プロロジス MX ファンド LP」、及び「プロロジスメキシコ フォンド ロジスコ」の資産から構成されます。

「FIBRA」はメキシコにおいて、長期的に先進的物流施設と生産施設に投資を行っていく予定です。「FIBRA」はメキシコ国内にあるプロロジスが開発した特定の施設について優先交渉権を有するとともに、プロロジスの全額出資子会社が、「FIBRA」のプロパティ及びアセットマネージャーとしての役割を担うこととなります。

※本資料は、2014年5月21日(現地時間)に米国で発表された英文プレスリリースの抄訳です。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do